

平成30年5月15日

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

一般財団法人江南クレーン教習所
埼玉県熊谷市成沢 8-9-3 番地



平成29年度は、米国の大統領、トランプ大統領が新たに就任した。第一声が「強いアメリカ」の復活を提唱し世界貿易における関税の引き上げの是正を提案し、世界各国の驚きなか矢継ぎ早に次々と思いつきのような施策を提案した。又北朝鮮においては次々と ICBM (大陸弾道弾) の開発と発射実験を繰り返し、成功に導いた経緯があった。その中で南北朝鮮戦争の終結が見られていない現在、核開発を背景として韓国政府及び米国に対し規制緩和と南北平和の交渉を行いたいというゼスチャーをし、トランプ大統領には核廃止を匂わせ会談に引き込もうと画策されている。なかで米、中、露、韓、日と会談を繰り返しなんとなく平和のシグナルが広がっている。良いことである。

さて国内においては、第12次労働災害防止計画が終了し、平成30年度からは第13次労働災害防止計画施行(平成30年～34年5ヶ年計画)が始まることとなった。死亡災害は、減少傾向にあるものの死傷者災害は増加の傾向にあり、特に第3次産業である小売業、福祉、飲食業における転倒、挟まれ、無理な動作が原因として問題となっている。今後の課題としてクローズアップしてきた。

(講習等の実施状況)

我々登録教習機関においては、平成31年3月31日までに「再登録」の申請を計画し、平成31年1月中には申請を実行する予定である。

日々の資格取得に受講者は、前年並み又は玉掛講習(前年比20%増)・足場講習(前年比17倍増)・小型移動式・フォークリフト講習等それぞれ15%増と増加した。又各種就業制限業務における資格のなかで、玉掛け、クレーン運転、フォークリフトの資格取得者の再教育のうち座学+実技(特に実技運転操作等)の教育を希望する企業が増加し、29年度においては、9企業延べ251名の安全教育を実施した。実施した企業に教育結果が反映されているか、否かを問い合わせの結果、「安全意識」の向上と「指差呼称」の励行に務めているとの報

告を聞いております。所内においては、外部研修には今年度延べ9名の講師を全登協の「感受性教育」「中堅ステップアップ研修」、日本クレーン協会の「玉掛け従事者安全衛生教育講師研修」に参加した。

今後とも各種技能講習にあたり、常に目標を意識し、「災害ゼロの実現」として「質の高い教育」をめざして、今後とも取り組んでまいります。

ご安全に

以 上